

広葉樹材の家具・内装向け品質評価基準の検討 ～センダン为例としたグレーディングの試行～

輸入広葉樹材

➤ 輸出国の基準で格付けされた乾燥板材が流通しています

国産広葉樹材

➤ 丸太での流通が基本で、利用者が製材、乾燥を行う必要があります

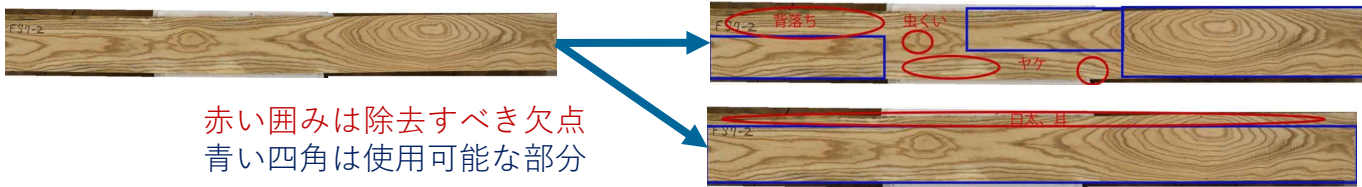
国産広葉樹板材の流通のためのグレーディング基準が必要

1. 広葉樹材流通に関する調査

- 丸太の市場取引において末口径が24cm以上あれば許容されています
- 需給のマッチングを行う者がいれば、より低質な材も利用可能

2. センダン板材を用いた品質評価試行実験

- 需要者（家具製造者）と供給者（製材、流通業）では、評価の傾向（どの程度厳しく評価するか）が異なります→**共通の価値基準が必要**
- 従来欠点とされていた節や材の色味の違いに対して、自然にあるものだからと肯定的に捉える評価が多く見られました→**価値観の変化**



福岡県大川地域、岐阜県飛騨地域において、広葉樹材の需要者および供給者に対してセンダンの板材20枚を用いた品質評価の試行実験を実施しました。それぞれの板材について、総合評価（5段階）に加えて、欠点、使用可能な部分について回答を得ました

3. グレーディング基準（試案）の作成および実証実験

- 実証に参加した需要者、供給者ともにグレード分けの意義を高く評価
- 需要者の製造品に応じて板材に求める仕様は異なるため、「基準」は実用的には商談における参考情報としての活用が期待されます

実証実験に用いたグレーディング基準試案（2024年9月時点）

区分名称	S	A	B	全区分で共通	
材長（外寸） （両端は切り揃え）	1800mm 以上	1200mm以上		板厚	27, 34, 40, 53, 65mm
材幅（外寸） （材中央で計測）	120mm 以上	100mm以上		表面仕上	ラフソーン
クリア面積比率	85%以上	65%以上	50%以上	耳の有無	両耳スリ
最小クリア寸法 （幅×長さ）	100mm× 1500mm	100mm×600mm もしくは 75mm×900mm	75mm× 600mm	利用不能な 欠点	欠点：強度に影響を及ぼすもの
				キャラクター マーク	健全部：強度に影響しない節、白太

グレーディング実証結果についてパンフレットを作成中です

本研究は生研支援センター「イノベーション創出強化研究推進事業」により実施しました